



行健中学校だより

郡山市立行健中学校

天行健なり

No.17 2010/9/10(金)

全校集会校長講話から「三つの喜び」 校長 齋藤正徳

鍵山秀三郎先生のお話に、喜びには大きく3つあるという話があります。今日は、それを紹介します。

その第1は、「もらう喜び」です。

おやつをもらった、お土産をもらった時の喜びです。お小遣いをもらったり、お年玉をもらったりする時のうれしさです。また、人から親切にしてもらったり、褒めてもらったりした時のうれしさです。これらは、みなさんだけでなく、赤ちゃんからお年寄りまで同じなのです。

2つ目の喜びは、「できる喜び」です。

たとえば、小さい時、はじめて自転車に自由に乗り回せるようになったときの喜び、鉄棒で初めて逆上がりができるようになった。跳び箱が跳べるようになった。校内の競技で優勝した。中体連で勝って県大会に出場することができるようになった。これはみな「できる喜び」です。学習面でも、苦手な数学や英語がわかるようになったとか、美術展で入賞したなどというのも「できる喜び」です。

そして3つ目の喜びは「あげる喜び」です。

もっと丁寧に言いますと「してあげる喜び」です。お母さんのお手伝いをして、スーパーに買い物に行きながらあげる。

家のお掃除をしてあげる。家の人が留守の時に、妹や弟の面倒を見てあげるなど。そうした喜びはたくさんあります。欠席した友達にプリントを届けてあげる。バスや電車の中でお年寄りに席をゆずるとか、してあげられることはたくさんあります。そしてそれは、大きな喜びにつながるようになります。

第1に「もらう喜び」、第2に「できる喜び」、第3に「あげる喜び」。みなさんは、おわかりだと思いますが、わたしたちは、「もらう喜び」だけにとどまてはいけません。もらう喜びなら、赤ん坊だってわかっています。この喜びだけでは、自立した人間、頼もしい人間とは言えません。もらう喜びから成長し、次には自分の力を発揮する喜び、自分の目標を達成する喜びを数多く味わってほしいと思います。

いま、皆さんがしっかり勉強するのも、体を鍛えるのも将来の目標や希望を達成する土台となる学力や体力づくり、今は、そのためにとても大切な時期なのです。

「できる喜び」を続けながら、第3の「あげる喜び」を、友達のため、人のため、社会のために、してさしあげる喜びを数多く味わってほしいものと願っています。

第4回全校集会開催～生徒会によるエコ活動推進～

行健中学校は、県が推進している地球温暖化防止事業「福島エコチャレンジ事業」に参加し、日ごろ校内の節電等に努めています。

月曜日の全校集会では、生徒会の皆さんが、地球温暖化により水没の危機にあるモルディブや本校の水道使用量を例に、身近なところから全校でエコ活動を進めていくことの大切さを発表してくれました。ちなみに、本校の昨年度の6・7月の水道料金は931,152円、猛暑の今年はそれを上回る1,021,260円もの水道料金がかかっています。こうした現状を踏まえ、生徒会ではまず「水の節約」に取り組みます。また、今後、各学級でも独自のエコ活動を行い、次の集会でその成果を発表します。

栄光の記録

今週、県合唱祭、市駅伝大会が開催され、合唱部が優秀賞、駅伝女子が2位、伊藤美月さん、伊藤佑里恵さんがそれぞれ区間1位に輝くなど、好成績を収めました。朝連、昼連、放課後と連日の猛練習の成果です！

【福島県下小・中学校音楽祭（第1部合唱）】○合唱部 優秀賞
【郡山市駅伝競走大会】

○女子第2位 安宅さん、新沼さん、石戸さん、伊藤さん、伊藤さん、西條さん、伊藤さん、羽賀さん

○4区第1位 伊藤さん ○5区第1位 伊藤さん

家庭教育学級開催

昨日、丸本先生（生涯学習開発財団認定コーチ）を講師に迎え、家庭教育学級を開催しました。

親自身が自己を見つめなおし、子どもたちの良いところを引き出すサポートコミュニケーションの方法を、具体的な事例を通して学ぶことができました。



【来週の行事予定】

12日(日)

○授業参観 2校時(9:30～10:15)

○PTAバザー 10:30～12:00 体育館

13日(月) 緑替休業日

14日(火) 火123456:B案

15日(水) 弁当

○1学年会津喜多方方面学習旅行

○2年インターンシップ

○3年高校説明会

16日(木) 木1234水⑤⑥

○2年高校説明会(56校時)

○3年高校説明会(56校時)

○生徒会役員選挙告示・候補者打合せ

17日(金) 金12水34金5:B案

○バドミントン部保護者会 18:00

18日(土)

○県吹奏楽連盟県南支部楽器別講習会

○ハンドボール大会(～19)

19日(日) 定期休 2日前部活停止

第4回全校集会～生徒発表紹介～

『県大会優勝から学んだこと』

野球部：3年 小林 くん

7月24日、僕は福島県内約500校の野球部の頂点に立ちました。しかし僕はその瞬間、グラウンドに立っていませんでした。

先週ようやく、松葉杖がとれましたが、僕は7月18日の試合中、左足の骨を2本複雑骨折してしまい、球場から救急車で病院に運ばれ、即入院となってしまいました。県大会4日前の出来事でした。

1年生の頃からずっとレギュラーで試合に出させてもらっていたのに、どうして1番大切な試合の前に？という悔しさと、どうして自分だけがこんなに辛い目にあうのか…という気持ち、さらに野球部のみんなに申し訳ないという気持ちが混ざって、心の整理ができずにいました。

県大会当日、「みんながんばってくれ」という気持ちと「もう行健中のユニフォームを着て野球ができないのか」という気持ちで涙があふれてきました。

すると、車椅子で会津の県大会まで応援に行ってもいいという許可が出ました。後から聞いたことですが、手術直後の僕を何とか県大会に行けるよう、母が必死で病院に頼んでくれたことを知りました。

試合直前に会津球場に着くと、みんなが笑顔で迎えてくれました。そして、先生が大会本部にかけ合ってくれて、車椅子のままですがベンチ入りすることができました。僕は必死で声を出し、仲間に声援を送りました。「宇輝の分まで頑張るから」、「骨折が治るまで勝ち続けるから」など、みんなからの言葉は本当に嬉しかったです。そして、骨折して試合に出ることができない僕に、ずっと背番号「8」を預けてくれた川崎先生の無言の励ましに感謝しています。

こうして毎日、病院と会津を往復しながら、僕もみんなと一緒に戦い続けました。そして見事、行健中学校65年の歴史で初の優勝という快挙を成し遂げることができました。

閉会式、仲間に押ししてもらいながら車椅子でグラウンドに整列し、首から優勝メダルをかけてもらいました。今までもらったどんな賞より嬉しかったことを覚えています。

僕は県大会、東北大会を通して、選手として活躍するという目標は果たすことはできませんでしたが、家族や野球部の仲間、先生方などたくさんの人に支えられて今があること、そして、そのすべてに「感謝する気持ち」を改めて学びました。僕にとっての県大会優勝は、試合の勝敗よりも、もっとも大切な事を教えてくれました。

『全国大会に出場して感じたこと』

陸上部：3年 高橋 さん

私は、8月21日から23日まで鳥取県で開催された全国中学校陸上競技選手権大会に出場してきました。

この大会へは、各大会で標準記録を突破しなければ出場できません。私の出場する走り幅跳びの標準記録は5m30でした。この記録を県大会か通信陸上大会のいずれかで突破しなければなりませんでした。

市中体連では4m98と標準記録にはほど遠いものでした。このままでは目標とする記録にはとどかないのではないかと不安もありましたが、あとの2つの大会があるので余裕をもって自分なりに筋トレをしたり、毎日の練習に集中して一本一本跳んだり、市大会以前よりも積極的にトレーニングできるようになりました。しかし、それでも県中体連での記録は5m26までしか伸ばせず、標準記録を突破することができませんでした。全国大会出場の最後のチャンスとなる通信陸上大会では必ず標準を突破しなければならなくなり、とても焦りました。

通信陸上大会では、一本目から狙って行こうと決めていたので、本番では一本目で標準記録を突破することができ、私にとっては、今までで一番緊張した大会だったので、審判委員の方の「標準記録突破です。」という声を聞いた瞬間に、今まで味わったことのない喜びがあふれてきました。あの時の気持ちは、一生忘れないと思います。

全国大会では、各都道府県の標準記録を跳んだ実力のある選手たちがたくさんいる中に自分がいることの喜びと、大会に出られるという躍動感がありました。最初は全国大会へ出場できるだけで嬉しいと思っていましたが、入賞記録を見ると自分でも入賞できそうな記録だったので、思ったような跳躍ができればと、とても悔しい思いをしました。また、大舞台で実力を出せる選手が強い選手なのだと思います。同時に全国には自分より強い選手がたくさんいることも実感し、負けたくないと思いました。

競技が終わった後に決勝の跳躍を見たり、同じ福島県の選手が走り幅跳で全国優勝するなど、とても刺激を受けました。また、福島県から同じ女子走り幅跳びの選手が、私以外にも二人いて、良いライバルであり、良い友達となっています。なかなか経験することのできない全国大会の雰囲気味わったり、最高の仲間に出会えたのも陸上を続けていたおかげです。そして陸上をやっているうえで協力してくれた両親のおかげだし、一緒に練習した陸上部のみんなや先生がたのおかげだと思います。これからも陸上競技を続けていきたいと思います。

今後の目標は、県で1位を取ることと、インターハイに出場して今度は入賞することです。

これからも感謝の気持ちを忘れずに、貴重な経験を活かして、目標を持って自分に挑戦し続けたいと思います。

※ 全校集会での合唱部部長、鈴木さんの発表は、次号で紹介します。

健翔祭準備快調！



健翔祭の準備が順調に進んでいます。昨日は、総務学習KST、ピックアートの部門ごとの打ち合わせがあり、活発な話し合いがなされました。生徒が自主的に生きいきと活動する姿はすばらしいものです。

新職員紹介

2学期、丸岡恭子先生（2学年副担任・数学担当）と英語指導助手（AET）のジャック先生が着任しました。



丸岡 恭子 先生

はじめまして。2学年数学を担当することになりました。丸岡です。皆さんの顔と名前を早く覚え、楽しい学校生活を送りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



Mr. Jack Liu

Hello I am the new ALT. and I am from Vancouver, Canada. Nice to meet you all. I am looking forward to be working with everyone.